| 禁転載複製 |
| --- |
| 当日配付 |
| 試験終了後公開 |

B59

「中央職業能力開発協会編」

# 令和６年度 技能検定
# １級 左官 学科試験問題
# (左官作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　人造石現場テラゾー工法における仕上げといしには、120番程度の金剛といしが適している。

2　本焼き鏝は、仕上げや磨きに使用される。

3　壁の漆喰塗りの木ずり下地には、厚さ7mm、幅40mm程度の小幅板を使用する。

4　左官作業を行う場合、一般に、左官工が打つ墨には、陸墨及び心墨がある。

5　墨出しにおける寸法の単位には、一般に、センチメートル(cm)を用いる。

6　せっこうプラスター仕上げにおけるセメントモルタル下地へのせっこうプラスターの下塗りは、下地のセメントモルタルの塗付け後、セメントモルタルが完全に乾燥する前に行うとよい。

7　漆喰に糊材を混入する目的は、乾燥のときのひび割れを防ぐためである。

8　左官の型抜きに使用する母型は、油土などで作った原型に樹脂やせっこう等を被せて造られる。

9　柱にちりじゃくりがある場合は、1mm程度すかして仕上げるとよい。

10　せっこうラスボード下地の塗り壁において、塗り層にひび割れが生じるのを防止するには、せっこうラスボードの継目部にセメントペーストを塗り込むとよい。

11　コンクリート下地の表面に発生したレイタンスは、その上に塗り付けるセメントモルタルの剥離の原因となる。

12　セメントの保管場所の床は、地面から10cm以下の高さとする。

13　足場の積載荷重には、足場上の作業者の荷重は含まれない。

14　補強コンクリートブロック積みにおいて、ブロックは、シェル厚の厚い方を下にして積む。

15　れんがを積み重ねて構造体を造る方法を、組積式という。

16　既調合せっこうプラスターの主原料は、焼きせっこうである。

17　白毛すさは、一般に、漆喰の下塗りや中塗りに使用される。

［A群（真偽法）］

18　ドロマイトプラスターの特徴として、初期強度が高いために収縮が大きくなり、ひび割れが目立つことがある。

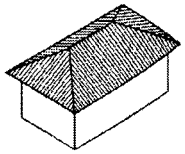
19　建築基準法関係法令によれば、れんが、石、コンクリート及びガラスは、いずれも耐水材料である。

20　次図の模様は、七宝模様である。



21　建築基準法関係法令によれば、組積造の壁面の開口部は、幅が1mを超える場合、上部に鉄筋コンクリート造のまぐさを設けなければならない。

22　次図の屋根形状は、切妻である。



23　建築基準法関係法令によれば、居室の天井の高さは、2.1m以上でなければならない。

24　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の材料構造表示記号は、左官仕上を表す。



25　労働安全衛生法関係法令によれば、脚立の脚と水平面との角度は、80度としなければならないとされている。

［B群（多肢択一法）］

1　左官工事における機械とその用途の組合せとして、適切でないものはどれか。

| | 【機械】 | 【用途】 |
|---|---|---|
| イ | パワートロウエル(機械鏝) | コンクリート床の直仕上げ |
| ロ | タンパー | 床面ならし |
| ハ | バイブレータ | コンクリートのはつり |
| ニ | ポリッシャー | つや出し |

2　鏝とその用途の組合せとして、適切でないものはどれか。

| | 【鏝】 | 【用途】 |
|---|---|---|
| イ | 黒打ち鏝 | 人造石伏せ込み |
| ロ | 鶴首鏝 | かわら面戸 |
| ハ | 上げ裏鏝 | 中塗り |
| ニ | 三角れんが鏝 | ブロック積み |

3　ALCパネル下地に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　断熱性に優れた壁・床材料である。
ロ　コンクリート下地よりも圧縮強度が高い。
ハ　下地面に不陸がある場合は、下地調整塗材で処理する。
ニ　コンクリート下地よりも吸水性が大きい。

4　墨出しに必要でない器工具はどれか。

イ　さし金
ロ　一輪車
ハ　墨つぼ
ニ　水平器

5　リシンかき落し仕上げに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　かき落しは、かき落し材の凝結硬化の初期に行うのがよい。
ロ　目地棒の取外しは、目地棒とその周囲が乾燥した後に行うのがよい。
ハ　かき落し材の塗り付けは、中央(平面)部分を塗り付けた後、角測りを行い、最後に目地棒の周囲を塗るのがよい。
ニ　上塗りは、一般に、厚さ6mm以上に塗り付けるのがよい。

6　漆喰用糊として、一般に、使用しないものはどれか。

イ　ぎんなん草
ロ　粉角又
ハ　空気連行剤(AE剤)
ニ　水溶性樹脂(メチルセルロース)

［B群（多肢択一法）］

7　せっこうプラスター塗りに関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　せっこうプラスターの塗り壁施工後は、通風をよくして早く乾燥させる。
　ロ　せっこうプラスターの塗り壁が凝結した後は、適当な通風を行う。
　ハ　せっこうプラスターを混練するときの水量は、多いと凝結時間が延びる。
　ニ　せっこうプラスターは、混練後、上塗りは1時間30分以内に使用する。

8　繊維壁塗りに関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　繊維壁材は、既調合材の一種である。
　ロ　繊維壁は、一般に、下地が未乾燥の状態で仕上げる。
　ハ　繊維壁は、吸音性がよく、室内空気の調湿作用がある。
　ニ　繊維壁材は、独特の多様な表面模様が得られる。

9　セメントモルタル塗りの壁下地として、適切でないものはどれか。
　イ　プレキャストコンクリート部材
　ロ　コンクリートブロック
　ハ　コンクリート
　ニ　せっこうボード

10　こまい下地壁塗りに関する記述として、適切なものはどれか。
　イ　一般に、荒壁塗り、中塗り、仕上げ塗りの順に塗り厚が薄くなる。
　ロ　水合わせ期間中は、切り返し(練り返し)を行わない方がよい。
　ハ　こまい竹の間隔は、10mm程度とする。
　ニ　裏返し塗りを行わなくても、土塗り壁の強度には影響がない。

11　セメントモルタル塗りに凍害が発生する理由として、適切なものはどれか。
　イ　混練水が蒸発してしまうため。
　ロ　鏝押さえが不十分であるため。
　ハ　混練水が凍ってしまうため。
　ニ　化学反応が起こるため。

12　次のうち、建築工事工程表に記載しないものはどれか。
　イ　工期
　ロ　延べ床面積
　ハ　構造
　ニ　使用工具

［B群（多肢択一法）］

13　セメントモルタルの圧送に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　配管を長くする場合は、まっすぐにするよりも少し蛇行させる方がよい。

ロ　配管のつぶれや折れ目は、閉そくの原因となる。

ハ　圧送をやむを得ず中断する場合、中断する時間の限度は60分である。

ニ　セメントモルタルは、水とセメントペーストで輸送管を湿潤させてからホッパーに投入する。

14　木造建築物の部材とその使用場所の組合せとして、適切でないものはどれか。

| | 【部材】 | 【使用場所】 |
|---|---|---|
| イ | 野縁 | 屋根 |
| ロ | 根太 | 床 |
| ハ | ささら桁 | 階段 |
| ニ | 胴縁 | 壁 |

15　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

建築基準法関係法令によれば、補強コンクリートブロック造の塀の高さは、原則として、(　　)m以下とする。

イ　2.2

ロ　3.2

ハ　4.2

ニ　5.2

16　ポルトランドセメントの主原料の組合せとして、適切なものはどれか。

イ　みかげ石と粘土

ロ　石灰石と粘土

ハ　アルミナと石灰石

ニ　火山灰と粘土

17　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)によれば、既調合プラスターの下塗り・中塗り材は、加水後(　　)時間以内に使用する。

イ　2

ロ　3

ハ　4

ニ　6

［B群（多肢択一法）］

18　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)によれば、ALCパネル床下地には、厚さ(　　)mm以上の床用ALCパネルを使用する。

イ　75
ロ　100
ハ　150
ニ　200

19　下地用のラスに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　メタルラスには、平ラス、こぶラス、波形ラス、リブラスなどがある。
ロ　ラスシートは、角波亜鉛鉄板の上面にメタルラスを溶接したものである。
ハ　メタルラスは、号数が大きくなるほど単位面積当たりの質量が小さくなる。
ニ　ワイヤラスには、ひし形ラス、甲形ラス及び丸形ラスがある。

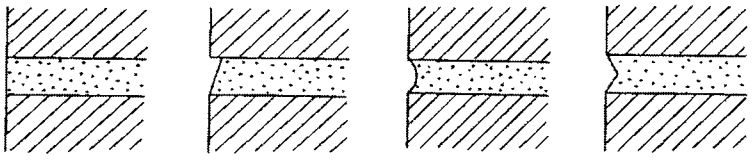
20　次のうち、寒色系の色はどれか。

イ　黄
ロ　青
ハ　赤
ニ　橙

21　次のうち、木造建築物の耐震性を低下させるものはどれか。

イ　屋根ふき材は、軽量である方がよい。
ロ　2階建の建築物は、広い部屋を階下に設ける方がよい。
ハ　建築物は、凹凸のない形状の方がよい。
ニ　2階建の建築物は、間仕切壁を上・下階とも同じ位置にした方がよい。

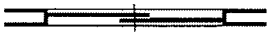
22　次図に示すれんが積みの目地形状のうち、しのぎ目地はどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の平面表示記号が表すものはどれか。

イ　引違い戸
ロ　引違い窓
ハ　出入口一般
ニ　シャッター



［B群（多肢択一法）］

24　建築基準法関係法令によれば、主要構造部でないものはどれか。

イ　屋根
ロ　床
ハ　梁
ニ　間柱

25　文中の(　　)内に当てはまる数値の組合せとして、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、架設通路の勾配は、原則として、( ① )度以下とし、( ② )度を超えるものには、踏桟その他の滑止めを設けることとしている。

| | ① | ② |
|---|---|---|
| イ | 25 | 10 |
| ロ | 30 | 10 |
| ハ | 25 | 15 |
| ニ | 30 | 15 |